

科目名	環境科学論	科目コード	1409	単位数	2
担当者名	池ノ上 真一	開講セメスター	第3セメスター	開講年次	2年次
授業の方法	講義	実務経験	有	特別民間法人	

●授業のねらい

環境とは、人や地域社会、そして地球を取り巻く3つの次元を捉える視点としての環境 " environment " と捉える。そこでグローバル化や人口減少、気候変動、コロナ禍などといった社会・経済・自然に関する変化に伴い、3つの次元の環境がどのように変容するかを考える力を養うことを目的とする。

また、学生自らが環境を科学的に捉え、具体の課題解決能力を高めるために、反転授業やアクティブラーニングを積極的に取り入れることとする。

●到達目標

- (1) 人や地域社会、そして地球を取り巻く3つの次元を捉える視点としての環境 " environment " を理解すること
- (2) グローバル化や人口減少、気候変動、コロナ禍などのネガティブだと捉えられがちな要因と、観光や異文化交流などのポジティブに捉えられがちな要因などに伴う3つの次元の環境変容の実情を知ること
- (3) 課題を発見し、解決するための能力を養うこと

●授業内容

- 1:週目 オリエンテーション 授業概要の説明と相互自己紹介
- 2:週目 環境とは 身近な環境
- 3:週目 環境とは 地域の環境
- 4:週目 環境とは 地球の環境
- 5:週目 環境とは 環境を総合的に捉える
- 6:週目 環境の変容 ネガティブな要因
- 7:週目 環境の変容 ポジティブな要因
- 8:週目 環境変容に関する課題解決の事例紹介
- 9:週目 環境を理解する 身近な環境 グループワーク
- 10:週目 環境を理解する 地域の環境 グループワーク
- 11:週目 環境を理解する 地球の環境 グループワーク
- 12:週目 環境変容と解決方法を理解する グループワーク
- 13:週目 環境変容と解決方法を理解する グループワーク
- 14:週目 最終課題：環境保全の方策の検討 プレゼンテーション
- 15:週目 最終課題：環境保全の方策の検討 プレゼンテーションと振り返り
- 16:週目 全体の補足説明、最終課題のフィードバックを行います。但し、やむを得ず、15週目までの授業内容を実施できなかった場合は、補講授業を行います。

●準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間

- ・（予習）授業前に教材と副教材をCoursePower上に公開します。予め、教材をよく読み副教材も通覧してから受講してください。（90分程度）
- ・（復習）授業では副教材を使用し教材を説明します。授業後には、講義内容を確認し、十分によく整理しておいてください。また、理解度チェック問題を解いて提出してもらいます。（90分程度）

●成績評価の方法・基準

- ・成績評価は70%以上授業に出席した履修者を対象とし、グループワークやディスカッションへの参加度や成果物を主として判定します。
- ・成績評価に当たっては、受講態度も考慮して判定することがあります。

●履修上の留意点

- ・私語や遅刻等で注意を受けて改善しない者は、不合格となることがあります。
- ・テキストとしてオリジナルの教材(プリント)を配布するので、個別フォルダに整理・保管してください。

●課題に対するフィードバックの方法

- ・ディスカッションやグループワークの成果物に対しフィードバックをします。さらに、単に知識を記憶することにとどまらず、社会に出てから役立つようにアクティブラーニングによって応用力を身に着けます。

●テキスト

- ・授業時にオリジナルの教材(プリント)を配布します。また、CoursePower上にも自作の教材と副教材を公開します。

●参考書

- テーマに合わせて授業内で適宜提示をします。

●更新日付

2022/03/02 01:50